

# 第1回美祢市総合計画審議会基本計画部会 議事録

日時：令和2年10月28日（水）10：00～11：50

会場：美祢市民会館 大会議室

	委員区分	団体名	氏名	出欠
1	部会長	美祢市男女共同参画審議会	小林 法子	
2	副部会長	美祢市議会	高木 法生	
3		美祢市議会	杉山 武志	
4		公募	井上 敏雄	
5		公募	梶岡 秀吉	
6		国立大学法人山口大学	田中 和広	欠席
7		成進高等学校	野原 政典	
8		山口県議会	森中 克彦	欠席
17		美祢市体育協会	生田 康文	欠席
14		西京銀行	石田 祐介	
9		山口県宇部県民局	磯村 昭二	
10		美祢市内郵便局	加藤 美智子	
11		美祢市教育委員会	金子 明美	
12		美祢市子ども・子育て会議	倉永 健造	
13		美祢郡医師会	竹尾 善文	欠席
15		美祢市社会福祉協議会	羽根 一孝	
16		美祢市医師会	札幌 博義	欠席
18		美祢市小中学校PTA連合会	松田 龍信	

## 1 開会

～資料の確認～

## 2 部会長あいさつ

～小林部会長ごあいさつ～

昨年度策定していただいた計画がスタートした。この計画が絵にかいたモチにならないためにも進捗管理が重要であり、計画を確実なものになるよう積極的な意見をいただきたく協力をお願いする。

### 3 議事

#### (1) 第二次美祢市総合計画基本計画の進捗状況について

事務局より：資料1及び資料2について説明

委員：今後の方向性で、コストが縮小、成果が拡大の箇所があるが、これは相反するのではないか？資料1の本市の認知度ランキングの山口県はどのくらいなのか？小・中学校のタブレットが配布されているとのことで、それに伴ってWiFi ネット環境の充実は。学校もそうだが、今回の休校となった場合、家庭又はどこかでWiFiにつなげる環境があるのか？

事務局：コスト縮小で成果拡大では、事務事業の見直しを行い、1件当たりのコストを圧縮しつつ、成果を拡大していくとの考えである。認知度ランキングの山口県は41位。WiFiは、学校に関しては順次整備している。市内の公共施設についても同様に整備を進めている。

委員：道の駅の売上は、下がっているが、ミネコレの売上は上がっている。利益率自体は向上しているのか？

事務局：利益率の資料は、現在手元に情報をもっていない。

部会長：道の駅で、道の駅みとうのトイレの清掃が隔日の清掃と伺っている。使用される方からすると臭いや清掃がひどいと、ここに長く滞在しようと思わないのでは。他市町の道の駅のように1時間に1回とは言わないが、せめて1日1回の清掃ができないものか検討を。

事務局：担当課にそのような意見があったことは申し伝える。

委員：29ページ。授業におけるコンピュータなどのICTの使用日数割合は、GIGAスクール構想で前倒してパソコンが整備されている。今後この数値があがっていくのか。

事務局：令和2年度の実績では、この指標の数値が上がってくるものと考えている。

委員：64ページの市民活動コミュニティ活動の支援の事後評価の中で、赤郷地区をモデル地区として事業を実施している。この取組を他地域へ進めていくと思うのだが、赤郷地区をモデルとして数年実施しているが、赤郷地区と平行して、他地区も推進していくべきではないか。協働まちづくり推進事業費の令和3年で0円となっているが、重点化には〇印が付してあり、つじつまが合っていないのでは。記載されている内容や実際に取り組んでいることは、市民が主体の協働のまちづくりで、非常に有益である。人材育成、まちづくり、地域が関わって非常にいい取組であるので、他地域に広げたい。

事務局：赤郷地区での取組をいかに他地域に広げていくことができるか。特定の分野の取組であっても、赤郷地区以外の他地区でそのような取組ができるよう推進していきたいと考えている。外部人材の活用では、別府地区に新たに魅力発掘隊員が着任しているが、このように地域課題解決に向けた取組を進めていきたいと考えている。

委員：目標指標の実績で、説明でもあったように、福祉分野の成果を数値で示すことは難しい。人口減少が進んでいる中で、地域ボランティア団体数などは減少の一途となる。分母となる人口が減っている中で、目標指標の人数だけをみると評価は下方となるので、人口割にするなどにして、指標の内容を見て評価するのはどうか。意見として、地域福祉に携わる者としてコロナ自粛が心配である。報道等もあり、様々なイベントが自粛する中で、ボランティアサロンも自粛されている。活動再開に向けたチェックリストなどをつくり、機会あるごとにしている。コロナに対する正しい知識を浸透させているが、新しい生活様式が浸透していない高齢者も多い。自粛から再開に向けた支援、後押しが必要。

部会長：地元のサロンでも時間が短くてもいいからサロンをやってほしいという意見が多い。生きがいとなっている。開くにはどうしたらいいか分かるものが配布されるといい。

事務局：計画に掲載している数値なので、その数値を把握しておく必要はある。ただし、ご意見のように、数値の捉え方・評価の仕方は、その指標の内容に応じて多角的にとらえていく。人口割等による比較についても検討していく。

委員：コロナ禍で行動変容も起こっているが、気持ちの変容も起こっている。この計画自体もコロナによってどの分野でも影響を受ける。観光などは大きく影響を受ける。そうなったときに、計画の見直しがあるだろうが、コロナを理由にしてほしくない。これから先、コロナだけではない。計画の中で軌道修正を含めてしていかなければならない。こういう会議も ZOOM で行うなど考えていく必要がある。教育分野でデジタル化を推進していく中で、子供がそうなら、大人も同様に慣れていかなければならない。集まって会議をする必要もあるが、世の中の変容が起こっている中で、地方だからこそ、そこに努めて取り組む必要がある。コロナを理由にするのではなく、コロナをばねにして新しく仕組みを変えてほしい。

部会長：計画策定時は、コロナはなかった。今は行動変容するチャンスでもある。視点を変えていかなければならない。

事務局：本計画も初年度が終わっていない状況であることや、各分野の個別計画との整合性もある。全体を通して、総合計画の軌道修正をしていかなければならないか、個別計画の修正で対応するか、今後の状況を見ながら考えていく。会議のあり方も、ZOOM 会議も現在市役所の体制ができていないが、今後対応できるように考えていく。

委員：コロナの影響は、変わったというより、早まったと感じている。ICT に関しても必要性は以前から言われている。それが今回早まった。スピード感が大事。今まで当たり前だったものが、人と人が合うことが、プレミアム感があるようなものになっていくのでは。考え方を考えていく必要がある。

委員：安全安心まちづくりとして、美東中学校周辺の交通事情の問題で解決できていない問題がいくつかある。

事務局：個別事案であり、交通規制標識は公安委員会の所管と考えられる。

委員：8 ページの魅力度ランキングは何かのランキングか？

事務局：地域ブランド調査の結果で、47 都道府県と 1,000 市町村を対象とした調査であり、その結果である。

委員：先日秋吉台に行ったが、今の季節ススキがきれいだが、セイタカアワダチソウが増えている。これらが無くなればもっと魅力度が上がってくるのでは。

事務局：秋吉台、秋芳洞という全国的にも有数の観光地がある。秋吉台＝美祢市となるような施策が必要と考えている。

委員：ICT 教育は、これから必要な分野で、GIGA スクール構想で、授業が改善されていくと思う。タブレット 1 人 1 台の時代であり、休校の際にも活用してほしい。事中評価で記載されているが、給食センターや図書館も老朽化が進んでおり、他の建物とのバランスもあるが、整備を推進してほしい。

委員：2 点ほど。各施策で人材育成が盛り込まれている。ジオガイド、新規就農者などの施策があるが、育成・就農のみならず、知識、技術を維持させていくことも必要ではないか。継続的な働きかけが必要と考える。街灯を LED に変更する場合、市から補助がある。街灯の管理は地域性がある。電気代が自治会負担の場合以外に、個人負担もところもある。これを市で設置し、管理していくことは？市道は、建設課になるが。

事務局：人材の育成は、人を育てる面と美祢市に定着してほしい面がある。地域や関係機関が指導等を行うなどし、支援をしている。防犯灯は、社会福祉協議会と協力して補助事業を実施している。市が直接設置、維持管理が難しいことから、防犯灯の整備又は機器の

取り換えに対し、補助を行う制度設計となっている。

委員：市民のためなるような形で、防犯灯も前向きに検討してほしい。

委員：地域で防犯灯をつけた場合、維持管理は地域でする以外はないであろう。それを全て市がやるのは不可能。電気代は地域で出したらいいのでは。52 ページで、消費者の安全として、消費者生活相談者数は、市の消費者センターへの相談件数か？セミナー講座は、具体的にどういったことを行っているものか？

事務局：市の消費者センターへの相談件数です。セミナー講座は、詳細な資料がないので個別にお答えさせていただければと思います。

委員：44 ページ、郵便局では空き家バンクの件で連携した取組を実施している。目標値を意識しながら市と一緒に取り組んでいく。空き家の活用として、コロナ禍においては地方でも仕事ができる環境があると思う。体制が整っていないこともあるが、スピード感を持って対応できれば考える。SNS をうまく利用して情報発信をしている事例もある。市は、制限が多いかもしれないが SNS など自由に情報発信をすることも必要。また、山口県立大学と包括連携協定を締結されたとのこと、大学生などの若い力を活用し、SNS で情報発信をしてもらったらどうか。

委員：コロナに対しては、国や市と連携し、感染拡大防止と経済活動の活性化を考えていかなければならない。県の令和 3 年度予算編成においてもコロナ対策に取り組んでいく。この危機から生まれた社会変革を新たな成長につなげていこうとする。行政のデジタル化、DXを進めていこうと、当面のコロナ対策と中期的なこれを契機としたイノベーションの 2 本柱で進めていこうとしている。美祢市の計画の一部修正については、別途コロナの計画を建てられながら、これを契機とした新たな成長という観点で、多くの施策の中ではなく、総論でこういう文言を整理されたらいいのではないか。市の各計画の進捗中で影響は避けられない。総論的な整理をされるべきではないか。

事務局：計画の見直しの手法も今後検討させていただく。

部会長：35 ページ、男女共同参画社会の実現の事後評価で固定的役割分担意識が根強いという意見が、男女共同参画社会の実現ができない大きな要因である。社会通念が足かせになっている。そこで、ここ数年男女共同参画に関するセミナー等の開催がない。新たに開催するのは難しいので、教育委員会の人権教育ふれあい講座中のテーマの一つに男女共同参画の問題を取り入れてもらえないか検討してほしい。

#### 4 閉会